

創

—第 69 回—

不急にこそ

「不要不急の外出は控えましょう」私もよく使用した言葉です。オミクロン株による感染再拡大が懸念されますので、今後も必要な心構えだと思います。

しかし「不要不急」と一括りにされますが、不急は「急がない」だけで、不要ではないのですよね。コロナは私自身も今までを振り返り、これから先の人生を見つめ直す貴重な時間になっています。恐らく皆さんにとってもそうではないでしょうか。何気ない地域の集まりでの皆さんの笑顔、気の置けない仲間との食事、スポーツやコンサートなど、当たり前がなくなっていて、初めて大切なものに気がつきません。改めて、不急にこそ人間らしく豊かに生きていく本質があるんだと実感します。ただ、医療従事者やソーシャ



別府市長
長野 恭紘

ルワーカーの皆さんの努力やご苦勞を思えば複雑な気持ちになります。

コロナとの共存はもう2年になるうとしています。私達も学習し、生活を進化させる必要があります。これまでの感染予防を徹底しつつ、心と身体の健康を守るためには、地域活動や経済活動のメリハリをつけた両立を確立しなければいけません。引きこもって、人との接触を避ける生活には、コロナと同じくらい様々なリスクがあります。

市民の皆さんや別府を愛するファンの皆さんのご支援やご協力のおかげで、今は感染状況がもの凄く落ち着いています。今まで温めてきた企画をこれから徐々に実践してまいります！（12月7日執筆）



フォトべっぷ



日本最高峰のラグビーリーグ—ジャパンラグビーリーグワン参戦チームの4チームが別府市で合宿を行いました。約1年ぶりに有観客での練習試合やラグビークリニックなどの交流イベントが行われ、ラグビーファンを沸かせました。



初めての開催—別府競輪場サブスタンドでべっぷケイリンマルシェが開催されました。会場ではJAべっぷ日出直販の新鮮野菜や果物、作家によるハンドメイドアクセサリーなどが販売され、訪れた人たちは買い物と競輪観戦を楽しみました。



市長との意見交換—ひとまもり・まちまもり懇談会を開催しています。11月24日に別府西中学校で開催した第1回目の懇談会では、市長が市政報告をしたあと、地域の人たちとの意見交換を行いました。今後、3月までに7か所で開催します。



全国2位の快挙—11月に開催された全日本ジュニア新体操選手権に出場し、種目別ロープで2位になった中部中学校2年生の吉澤昂さんが市長を表敬訪問しました。吉澤さんは「支えてくれる人のおかげで結果を出せた。次は優勝を狙いたい。」と力強く語りました。